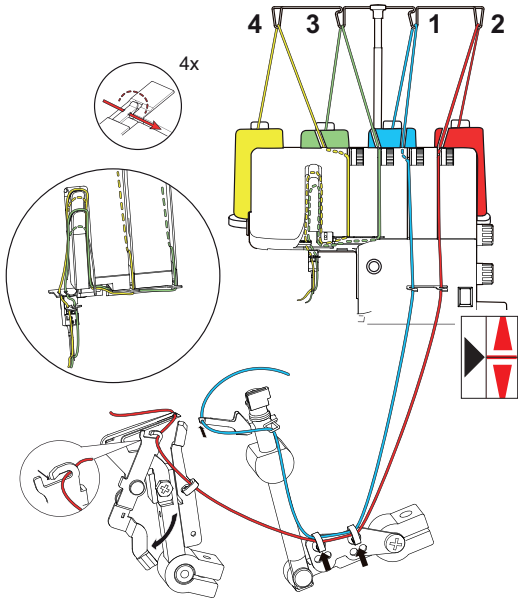
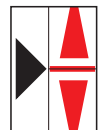


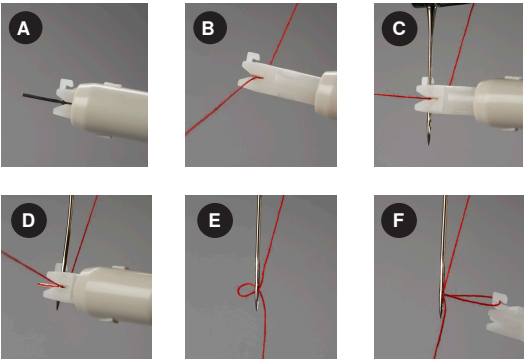
ミシンに糸を掛けなおします。



糸通しの準備



はずみ車を反時計回りに回して、針棒を一番上まで上げます。



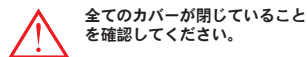
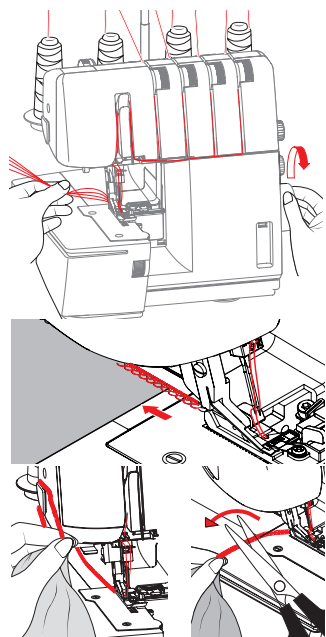
糸通し

- A Y型糸通しのワイヤー
- B 糸通しを、三角の目印が付いた部分を上にして持ち、糸をY型スリットに対して横向きに通します。
- C 糸の端を軽く引っ張りながら、糸通しの先を針のシャフトに押し付け、下へスライドさせます。ご注意ください：針金が損傷しないように、糸通しは針に対して軽く押し付けてください。
- D 針穴の部分までスライドさせたら、針金を押して、糸を針穴に通します。
- E 糸通しをゆっくり引くと、針穴の向こう側に糸の輪ができます。
- F 糸を完全に針穴に通し、糸端を押え金の下に持っていきます。

L 460
L 450

	左針	右針	上ルーバー	下ルーバー	巻きロックレバー	上ルーバーコンバーター	メスの位置	ステッチの長さ	差動送り
1 4本糸オーバーロック	4	4	4	4	▲	—	6	2.5	1
2 3本糸スーパーステッチ	4.5	4	—	3	▲	🔧	6	2.5	1
3 3本糸オーバーロック(左針)	4	—	4	4	▲	—	6	2.5	1
4 3本糸オーバーロック(右針)	—	3.5	4	4	▲	—	6	2.5	1
5 3本糸平縫い(左針)	1.5	—	3.5	7	▲	—	6.5	2.5	1
6 3本糸平縫い(右針)	—	2.5	4	7	▲	—	7	2.5	1
7 3本糸細巻きロック	—	4	4	4.5	▽	—	7	2	1
8 3本糸巻きロック	—	3.5	4	7.5	▽	—	5	1	1
9 2本糸オーバーロック(左針) (布端巻き縫い 左針) LN	5	—	—	3	▲	🔧	6	2.5	1
10 2本糸オーバーロック(右針) (布端巻き縫い 右針) RN	—	6.5	—	3.5	▲	🔧	6	2.5	1
11 2本糸平縫い(左針)	2	—	—	4	▲	🔧	6.5	2.5	1
12 2本糸平縫い(右針)	—	2	—	4	▲	🔧	6	2.5	1
13 2本糸巻きロック	—	4	—	4	▽	🔧	5	1	1
14 2本糸オーバーロック(左針)	2	—	—	4	▲	🔧	6	2.5	1
15 2本糸オーバーロック(右針)	—	2	—	4.5	▲	🔧	6	2.5	1
30 3本糸ピコットステッチ	—	3.5	3.5	6.5	▽	—	6	2.5	1

試し縫い



全てのカバーが閉じていることを確認してください。

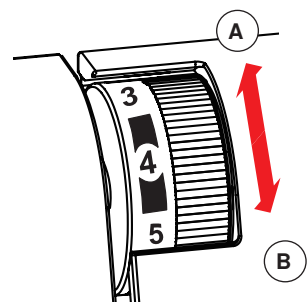
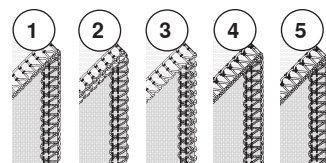


当ミシンでソーイングできる布地の厚さは最高6mmまでです。

糸通しができたら、作品に使用する布地で試し縫いをします。

- 標準糸調子、巻きロックレバー、メスの位置、ステッチの長さ、差動送りの設定および上ルーパーコンバーターの使用をあらかじめ設定します。→23ページステッチ一覧参照
- 全ての糸を左に引きます。
- 押え金を下げます。
- はずみ車を反時計回りに数回回し、空環が出ることを確認します。
- 試し縫いの布地を押え金の先の下に入れ(ほとんどの布地で押え金を下ろしたままできます)、ゆっくり縫い始めます。
- 布地はミシンが自動的に送るので、軽く押さえます。
- ステッチを確認し、必要があれば調整します。試し縫いの出来によって以下の項目を調整します:
 - 32ページ糸調子を合わせるを参照
 - 21ページmtc(マイクロスレッド制御)参照
 - 21ページ押え圧参照
 - 22ページ差動送りの設定参照
 - 20ページメスの位置参照
 - 20ページステッチの長さ参照
- 布の終わりでは、ミシンをゆっくりとしたスピードで動かしながら、空環が出来るまで布地を後ろへ引きします。
- 糸を後ろから糸切りに通すか(1)、はさみで切ります(2)。

糸調子を合わせる



- 調整された糸テンション。
- 上ルーパー糸が布地の裏側に引っ張られています。
 - 上ルーパー糸のテンションを強めるか、下ルーパー糸のテンションを弱めます。
- 下ルーパー糸が布地の表側に引っ張られています。
 - 下ルーパー糸のテンションを強めるか、上ルーパー糸のテンションを弱めます。
- 左針の糸が緩く、布地の裏側に見えています。
 - 左針の糸のテンションを強めるか、上下どちらか一方のルーパー糸、もしくは両方のルーパー糸のテンションを弱めます。
- 右針の糸が緩く、布地の裏側に見えています。
 - 針糸の糸テンションを強めます。

糸調子ダイヤルを回すと、それぞれの糸のテンションの調整が出来ます。

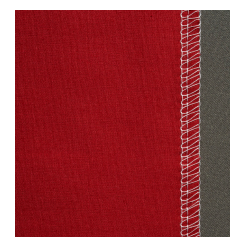
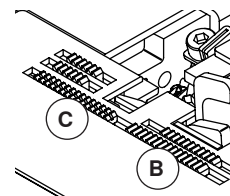
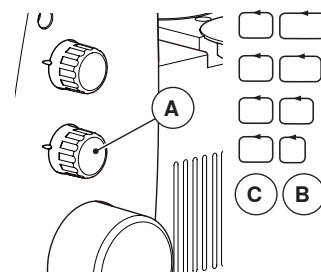
- ダイヤルを上に戻すと、テンションが強くなります。

- A** テンションを強くする
B テンションを弱くする



その他のステッチの調節については、取扱説明書をご覧ください。

差動送りの設定



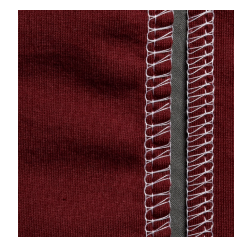
差動送りが基本設定の場合、平らで均一な縫い目になります。



差動送りが1~2に設定することで、目の粗い編地などが伸びてしまうのを防ぎます。

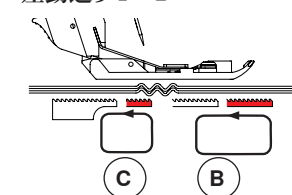


差動送りを1~2に設定することで、簡単にギャザーをよせることができます。ステッチの長さを長くすると、ギャザーによりボリュームが出ます。

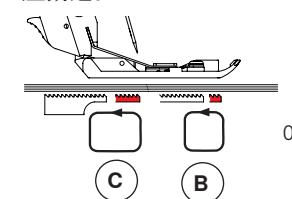


差動送りを0.7~1に設定することで、織地が波打ったように歪むのを防ぐことができます。

差動送り 1 - 2



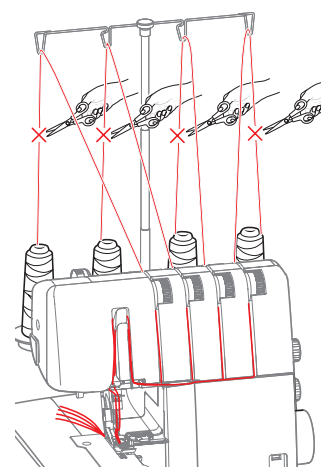
差動送り 0.7 - 1



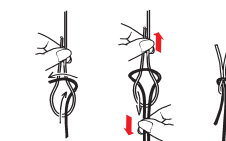
差動送り調節ダイヤル(A)では自由に調節ができます。

0.7(伸ばす)~2(縮める)の間で設定が可能です。始めは差動送り調節ダイヤルをニュートラルポジション1に合わせます。また、縫っている途中でも設定を変更することができます。

糸の交換



- 残りの糸を糸こまの近くで切り、新しい糸こまをセットします。
- 残りの糸の端を、新しい糸と結び合わせます。
- 押え金を上に上げて、糸テンションを緩めます。
- 針糸を糸穴の上で切り、針から引き抜きます。
- ルーパー糸が引っ張られ、新しい糸がルーパーの穴を通して出てくるまで、空環を注意しながら引っ張ります。
- 針に糸を通し、押え金を下げます。



結び目を針穴に通す際に、針が損傷してしまうことがあります。